

# 平成29年度 基本評価調書(別紙様式1 施策評価関連)

施策名	キャリア教育の推進	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 佐藤 寛	施策コード	11 - 06
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-417)	関係課	高校教育課		

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	3	人・地域	(2)	北海道の未来を拓く人材の育成	A	ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担うひとづくり	-	
北海道創生総合戦略	A3951,A3952	北海道 強靱化計画		新・北海道 ビジョン	C05302,C05401,C05503,C05504,C05505,C05506,C05507			
特定分野別計画等	北海道教育推進計画							

### 1 目標等の設定

現状と課題	・人口減少やグローバル化が急速に進行する中で、ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材とともに、国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要となっている。		施策目標	・家庭・地域・企業などの協力を得て、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実を図る。	
施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額
	3(2)A	【キャリア教育の推進】 [道]①「キャリア教育・職業教育推進事業」において、高校4校を研究指定校とし、学校から社会・職業への移行が円滑に行われるよう、社会的・職業的自立に向け、必要な基礎的・汎用的能力を育成し、キャリア発達を促す体系的なキャリア教育及び職業教育の推進 ②「キャリア教育・職業教育推進事業連絡会議」を開催し、事業の実施上の課題等について協議など	3(2)A	【ふるさとキャリア教育の推進】 [道]①「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」において、小学校、中学校、高校を研究指定校とし、地域の未来を担う人材を育成するため、地方自治体や地域の産業界など関係機関、団体の支援を受けながら、家庭生活の大切さや子どもを育てることの意義についての学習や、小学校、中学校、高等学校間の体系的なキャリア教育に取り組み、本道におけるキャリア教育の推進 ②外部有識者や道教委関係課等によって組織する「北海道キャリア教育推進会議」の設置 ③外部有識者、PTA、自治体、経済団体、家庭教育サポート企業等によって組織する「地域未来づくり会議」を設置するなどし、研究指定校への専門的見地からの指導助言など	H27 71,006 H28 69,614 H29 68,206
	今年度の取組	今年度の取組	政策体系	今年度の取組	
	3(2)A	○一人一人のキャリア発達への支援の充実、進路指導の充実			

<前年度意見への対応>

前年度 付加意見 (二次政策 評価にお ける付加 意見の内 容)		付加意見 への所管 部局の対 応 (H29年3月 末時点)	

## Do & Check 施策評価

### 1-2 取組の結果

#### (1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
3(2)A	<p>【キャリア教育の推進】</p> <p>○一人一人のキャリア発達への支援の充実、進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップを体験する生徒数の目標を設定してインターンシップを推進し、在学中に1回以上インターンシップを経験した高校生の割合は4.6ポイント上昇した。</li> <li>・北海道労働局や北海道経済産業局、道経済部と連携し、経済団体に対する雇用要請を実施した。</li> <li>・大学、試験研究機関、地域産業等と連携した専門的知識・技能の取得や次代の地域産業を担う専門的職業人の育成に係る実践研究を実施した。</li> <li>・特別支援学校において、関係機関と連携し297社に実習を依頼し、就労先の開拓・確保を行った。</li> <li>・全14教育局に進路相談員を配置するとともに、学校と地域企業との相互理解促進のため企業見学会や意見交換会を実施した。</li> <li>・高校4校を「キャリア教育・職業教育推進事業」の研究指定校として指定し、社会的・職業的自立に向け必要な基礎的・汎用的能力を育むための実践研究を実施した。</li> </ul>	A3951 A3952	-	C05401 C05503 C05504 C05505 C05506 C05507	
3(2)A	<p>【ふるさとキャリア教育の推進】</p> <p>○「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道内の小学校20校、中学校16校、高校14校を研究指定校として指定し、地域の教育力を活用した小中高の一貫したキャリア教育を実施した。</li> </ul>	A3952	-	C05302 C05506	

#### (2) その他の取組の成果等

国等提案・要望状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規高等学校卒業者の求人倍率は全国に比べ、北海道は低い状況にあり、就職環境は厳しい状況にあることから、新規学卒者の雇用促進に向けて、経済団体、業界団体等の関係団体等に対し、引き続き要請を行うとともに、厚生労働省、経済産業省と連携し、就職面接会の開催数を拡充するなど、新規学卒者に対する就職支援策の充実を要望した。(平成29年5・6月)</li> </ul>	施策に関する道民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップ実施状況調査における保護者からの主な意見(H29.3)</li> <li>・希望する職種のインターンシップ受入事業所を確保することが課題。</li> <li>これらを踏まえ、関係機関や道の関係部と連携し、インターンシップ受け入れ登録企業の充実などに取り組んでいる。</li> </ul>
-----------	--	-------------	---

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

## 2 連携の状況

### (1) 施策間・部局間の連携

## 2-2 連携の取組状況

### (1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の未来を担う人材を育成し、本道におけるキャリア教育の充実を図るために設置した「北海道キャリア教育推進会議」に道の関係部の参画を得て、協議・意見交換を実施</li> <li>・学校におけるインターンシップを推進するに当たり、道の関係部から「インターンシップ受入登録企業」の情報提供を受け、連携して事業を実施</li> <li>・道が設置する「北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会」に参画し、建設産業の担い手確保・育成について協議・意見交換を実施</li> </ul>	N0518	経済部人材育成課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道キャリア教育推進会議」を年間2回開催し、道の関係部の参画を得て、協議・意見交換を実施するなど、連携が図られた。(H28.6.1、H29.2.17)</li> <li>・各学校に対して、「受入登録企業一覧」を活用するよう周知するとともに、活用状況やその他に実施した企業について情報提供した。</li> <li>・「北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会」に参画し、建設産業の担い手確保・育成について協議・意見交換を実施するなど、連携が図られた。(H28.6.3、H28.12.27)</li> </ul>
		N0518	経済部雇用労政課	
		N0805	建設部建設管理課	

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
<p>地域ぐるみでキャリア教育を推進するため、外部有識者から組織する地域未来づくり会議を開催し、地域の教育資源の活用方策や、継続してキャリア教育を進めるための方策を検討する。</p>	<p>PTA、自治体(3市11町)、経済団体、家庭教育サポート企業など</p>	<p>各地域で地域未来づくり会議を開催し、「地域人材を活用した取組の充実に向けて」や「地域への成果の普及について」などをテーマに協議・意見交換を行い、「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」の研究指定校が専門的見地からの指導・助言を受けることにより事業の推進が図られた。</p>

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) Do & Check 施策評価

### 3 成果指標の設定

### 3-2 成果指標の達成度合

関① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31					
全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31	年度	H28	H29	進捗率	関係団体等へインターンシップ受入先の確保の要請やインターンシップ指導事例集の活用などの効果と考える。
	基準値	52.7	目標値	57.1	最終目標値	60%以上	目標値	55.6	57.1	60	
【指標の説明】 全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	64.2	-	64.2	
	北海道創生総合戦略		3(2)A	増加	(実績値/目標値)×100		達成率	115.5%	-	107.0%	

関② 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31					
就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校生)	基準年度	H26	年度	H29	最終年度	H31	年度	H28	H29	進捗率	各学校における個別面談や進路相談員による進路講話、教職員へのカウンセリング手法等の研修などの実施によるきめ細かな指導の効果と考える。
	基準値	3.5	目標値	3.5	最終目標値	現状以下	目標値	3.5	3.5	3.5	
【指標の説明】 就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校)	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		実績値	1.9	-	1.9	
	北海道創生総合戦略		3(2)A	減少	(目標値/実績値)×100		達成率	184.2%	-	184.2%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可



平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(2)A	2					A・B指標のみ	<全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合【A】> ・関係団体等へインターンシップ受入先の確保の要請やインターンシップ指導事例集の活用などの効果と考える。 <就職を希望する者のうち、進路未決定者の割合(高校生)【A】> ・各学校における個別面談や進路相談員による進路講話、教職員へのカウンセリング手法等の研修などの実施によるきめ細かな指導の効果と考える。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	2	0	0	0	0	A・B指標のみ	
	2						



(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・インターンシップの実施や就職希望者への指導など施策全体に対し、効果的な取組を推進していることが認められる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・新規学卒者の雇用促進及びインターンシップ受入事業所の確保に向け、経済団体等への要請を行い、進捗が認められる。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・インターンシップ実施状況調査を実施し、保護者の抱える課題を把握し、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・北海道労働局や北海道経済産業局及び道経済部とともに、経済団体に対する雇用要請を実施しており、新規学卒者の求人確保について連携の成果が認められる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	○	・地域ぐるみでキャリア教育を推進するため、各管内で地域未来づくり会議を開催し、外部有識者との協議・意見交換を実施するなど、キャリア教育推進に向けた連携・協働が進められ成果を確認できる。
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
A・B指標のみ	a	概ね順調に展開

(4)対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			（関連する計画等）		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(2)A	・体験的な学習活動を通して、主体的に進路を選択する能力の育成に向けた取組を充実	A3951	-	-
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
---------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対 応
①	<p>&lt;新たな取組等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育については、インターンシップなどを推進してきたところであるが、今後は、インターンシップを含めた体験的な学習に拡充し、主体的に進路を選択する能力の育成に向けた取組の充実を図る。</li> <li>特に、基幹産業である農林水産業や労働力不足が顕著な建設産業への就業については、多くの生徒の進路の選択肢の一つとなるよう、知事部局と連携し、中高生に対する総合的な情報提供やインターンシップを実施する。</li> </ul> <p>（新規：総合的なインターンシップ等実践事業費）</p>
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

# 平成29年度 基本評価調書

施策名	キャリア教育の推進	施策コード	11 - 06
-----	-----------	-------	---------

## Action 事務事業評価

### 8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

#### （1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計	次年度新規事業 (予定)
評価結果		0 事業	0 事業	2 事業	2 事業	0 事業	0 事業	1 事業	5 事業	
反映結果		- 事業	0 事業	2 事業	2 事業	0 事業	0 事業	1 事業	5 事業	1 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0528	進路指導に関すること	現状維持	現状維持
0529	進路指導に関すること	現状維持	現状維持
0530	新規学卒者就職対策推進費	縮小	縮小
0531	高等学校キャリア教育実践事業費	縮小	縮小
0532	小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業	終了	終了